



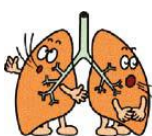
河内藤園（北九州市）

臨床検査 日和

春号

臨床検査日和 第11号 2017年 4月

検査のおはなし > > > > > > > > > > Vol.10 肺機能検査とは？



肺を出入りする空気の量や速さを測定することで肺の状態（肺機能）を調べる検査です。肺の病気やその重症度、治療効果の診断、気管支喘息の診断にも重要な検査です。また、術前には麻酔法の選択にも利用されます。

なにをするの？

スパイロメーターという機械を使って検査します。

①肺活量（肺に入る空気の量）を測定します。（%肺活量）

鼻をノーズクリップで止め、マウスピースを口にくわえます。

静かな呼吸を数回繰り返したあと、一度**大きく息を吐き**、次に**大きく息を吸い**、さらに**大きく息を吐きます**。

これを3回程度繰り返します。

②息を吐くスピードを測定します。（一秒率）

まず、静かな呼吸を2～3回繰り返したあと、**大きく息を吸い**、**勢いよく一気に全部吐きます**。

これを3回程度繰り返します。

測定値は年齢・身長・性別に基づく予測値と比較して評価されます。

ノーズクリップ

スパイロメーター

マウスピース

なにが分かるの？

%肺活量と一秒率の結果から

正常・拘束性・閉塞性・混合性

と分けられます。

さらに詳しく診断するためには
胸のレントゲンや CT などの精密検査を行います。

1 秒 率	%	A	B
	70%	拘束性	正常
		C	D
		混合性	閉塞性
		80% %肺活量	

正確な評価ができるようしっかりと息を吸ったり吐いたりしていただきます。私たち臨床検査技師が声かけをしますので、一緒に頑張りましょう♪



拘束性の病気・・・肺が硬くなり、十分に吸ったり吐いたりできなくなる病気。肺線維症や間質性肺炎など。

閉塞性の病気・・・空気の通り道が狭くなって勢いよく吸ったり吐いたりができなくなる病気。

肺気腫や気管支炎、気管支喘息など。

混合性の病気・・・拘束性と閉塞性が合併した状態。高度の肺気腫など。

NEW FACE ☆☆☆

臨床検査技術部に新しい仲間が加わりました！

病理検査を担当します。
社会人1年生ということではない事ばかりですが、元気に貪欲に頑張ります！よろしくお願いします。

趣味・特技：スポーツ観戦、旅行
好きな食べ物：ラーメン

血液検査を担当します。
主に採血を担当させていただいています。何かありましたらお気軽に声をかけて下さい。

趣味・特技：旅行、ミュージカル、弓道
好きな食べ物：お寿司



細菌検査を担当します。
わからない事ばかりで不安でいっぱいですが、早く仕事を覚えて職場の戦力になれるよう努力していきます。「患者さんのために」という気持ちを忘れずに頑張りますので、よろしくお願いします。

趣味・特技：野球観戦
好きな食べ物：チーズケーキ

血液検査を担当します。
皆さんに信頼していただける臨床検査技師になれるよう、日々精一杯頑張っています。よろしくお願いします。

趣味・特技：映画鑑賞
好きな食べ物：チョコレート

検査技師のおしゃべり♪

再び、うどん打ち名人をめざして！！

今回は、私の趣味の中の一つである“うどん”を紹介いたします。

福岡のうどん文化は古く、うどん発祥地『博多』だけあってうどん店が多くあります。昔ながらのうどん店から、最近ではうどん居酒屋も多くみられるようになってきました。お気に入りのうどん店で、真剣にうどんと向き合っている店主が、白く粉まみれになっている姿を見るとうれしくなってしまいます。突然思い立った3月のある日、材料を買い早速うどん打ちにチャレンジ。十数年前、讃岐でうどん打ちを習った感覚を思い出しながら何とか完成し、うまい！！しかし、何かが違う・・・。そう上手くはいきません。うどんを打つ材料は、小麦粉、水、塩のみですが、水回し・ネリ・足踏み・熟成・菊揉み・すかし打ち・包丁切りと数多くの手順を必要とします。それ以外にも、使用する小麦粉の種類・塩分濃度・加水率・熟成時間・熟成回数・茹で時間など重要な要素がいくつもあります。これらの要素によって、同じ小麦粉から作っても驚くほど違う食感のうどんが出来上がります。

だから、“うどん打ちは面白い！！”

再びうどん打ちにめざめ、修行に行きたいと思う今日この頃、どなたか私を弟子に・・・。

＜私の打ったうどんです＞



臨床検査技術部 森